



ぎかい、だより



もくじ

■令和5年第2回臨時会	．．．．．	P	2
■議会組織紹介	．．．．．	P	3
■議案一覧、主な質疑	．．．．．	P	4
■6月定例会、議案一覧	．．．．．	P	5
■主な質疑	．．．．．	P	6
■一般質問（7名）	．．．．．	P	7
■一部事務組合派遣議員報告	．．．．．	P	14

【南部菱刺し】

青森県南・太平洋側の南部地方に伝わる刺し子の技法の一つで、「津軽こぎん刺し」「庄内刺し子」「南部菱刺し」は日本三大刺し子と呼ばれています。

おいらせ町には青森県伝統工芸士の認定を受けた北向春枝さんがおり、作品をご紹介します。（作品名：黒と茶）



令和5年

第2回
臨時会

令和5年5月8日に招集された第2回臨時会において、議長選挙が行われ、議長に松林義光議員が選任されました。

また、副議長に吉村敏文議員が選任されました。

常任委員会、議会運営委員会委員の選任、議会広報編集調査特別委員会の設置と委員の選任、一部事務組合議会への派遣議員の選出が行われ、町議会の組織構成が決定しました。

おいらせ町のさらなる発展のために

議長 松林 義光

おいらせ町議会議員議長就任にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

去る令和5年5月8日に開催されました令和5年第2回臨時会におきまして、第7代おいらせ町議会議長に就任いたしました。選出されたことに責任の重大さを痛感し身の引き締まる思いです。

昨今の社会情勢に対し、「安全・安心なまちづくり」「住みこころランキング県内1位」「町の幸福度ランキング県内2位」「住み続けたい街ランキング県内6位」を推進していくため、議員と共に力を合わせ、皆様が住んでいて良かったと思える「笑顔あふれる町 おいらせ町」にするため、町当局と切磋琢磨し、町民のみなさまの声に迅速かつ的確に対応できるよう、全力を尽くしてまいります。

町民の代表の一人として選ばれたことに誇りを持ち、今後4年間おいらせ町のさらなる発展のために責任をもって行動することを申し上げます。

町民各位のご指導とご協力をお願い申し上げ、就任のご挨拶といたします。

【総務文教常任委員会】

委員長 檜 山 忠
副委員長 小 向 幸 祐
委 員 松 林 義 光
西 館 芳 信
日野口 和 子
木 村 忠 一
澤 上 訓
小笠原 伸 也

【産業民生常任委員会】

委員長 平 野 敏 彦
副委員長 佐々木 勝
委 員 吉 村 敏 文
川 口 弘 治
田 中 正 一
柏 崎 勉
沢 尾 宏 之
大 浦 陽 子

【議会運営委員会】

委員長 川 口 弘 治
副委員長 佐々木 勝
委 員 西 館 芳 信
田 中 正 一
沢 尾 宏 之
小笠原 伸 也

【議会広報編集調査特別委員会】

委員長 日野口 和 子
副委員長 沢 尾 宏 之
委 員 柏 崎 勉
小笠原 伸 也
大 浦 陽 子
小 向 幸 祐

【一部事務組合議会】

八戸地域広域市町村圏事務組合議会議員 平 野 敏 彦
十和田地域広域事務組合議会議員 木 村 忠 一
上北地方教育・福祉事務組合議会議員 澤 上 訓
西 館 芳 信

【議会選出委員】※令和5年第2回定例会で選出

おいらせ町監査委員 木 村 忠 一

「笑顔あふれる町 おいらせ町」のために 私たちは全力を尽くします。

【任期：令和5年5月1日から令和9年4月30日】



16番 議長 松林 義光
当選回数 11回 78歳
(緑ヶ丘)



15番 副議長 吉村 敏文
当選回数 7回 70歳
(二川目)



14番 西館 芳信
当選回数 8回 72歳
(一川目)



13番 川口 弘治
当選回数 6回 64歳
(藤ヶ森)



12番 橋山 忠
当選回数 4回 79歳
(間木)



11番 平野 敏彦
当選回数 4回 76歳
(二川目)



10番 日野口 和子
当選回数 4回 76歳
(鶉久保)



9番 田中 正一
当選回数 4回 74歳
(本村)



8番 木村 忠一
当選回数 3回 71歳
(木内々)



7番 澤上 訓
当選回数 3回 68歳
(肴町)



6番 佐々木 勝
当選回数 2回 65歳
(洋光台)



5番 柏崎 勉
当選回数 1回 66歳
(木内々)



4番 沢尾 宏之
当選回数 1回 65歳
(木ノ下)



3番 小笠原 伸也
当選回数 1回 61歳
(八幡町)



2番 大浦 陽子
当選回数 1回 50歳
(大工町)



1番 小向 幸祐
当選回数 1回 44歳
(六丁目)

「5月臨時会 議会組織」

「5月臨時会 議案審議」

「6月定例会

議案審議及び補正予算」

「一般質問(7名)」

「二部事務組合議会議員報告」

区分	議案番号	▼議案審議一覧 5月8日(月) 全案承認	議決結果
承認	2	専決処分の承認を求めることについて(おいらせ町町税条例の一部を改正する条例)	承認
	3	専決処分の承認を求めることについて(おいらせ町原子力発電施設等立地地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	承認
	4	専決処分の承認を求めることについて(おいらせ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
	5	専決処分の承認を求めることについて(おいらせ町承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	承認
承認	6	専決処分の承認を求めることについて(おいらせ町介護保険条例の一部を改正する条例)	承認
	7	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度おいらせ町一般会計補正予算(第9号))	承認
	8	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度おいらせ町一般会計補正予算(第10号))	承認

議長選挙

投票総数16票
(有効16票)
当選 ^{まつばやし}松林 ^{よしみつ}義光 (14票)

※副議長、一部事務組合議会の議員は指名推薦により当選が決定しました。



▲説明に耳を傾ける議員

主 な 質 疑



【承認第2号】

専決処分の承認(町税条例の一部改正)

問 町民税、固定資産税、軽自動車税それぞれの経過措置とのことだが、要点を簡潔に。

(平野敏彦 議員)

答 町民税については、令和6年1月以降に導入される森林環境税に対して、令和6年度から個人住民税に適用するための改正。固定資産税については、中小事業者等の固定資産の取得に対する特例措置に対する改正。軽自動車税については、道路交通法改正に合わせた改正。



問 この改正によって町税収入の増減につながるのか。

(平野敏彦 議員)

答 町税収入については、この改正により、すぐに反映されるものではない。

問 電動キックボードも課税対象になるとのことだが、すでにナンバーを取得していると思う。把握の仕方は。

(平野敏彦 議員)

答 現在もナンバー登録ができ、原動機付自転車と同じナンバーをつけている。7月1日以降取得したものから違う種別のものになる。

【承認第5号】

専決処分の承認(承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正)

問 承認地域経済牽引事業の対象となる業種、企業とは。

(平野敏彦 議員)

答 承認地域とは国の計画の承認を受けた地域。青森県では、県全体、八戸圏域の8市町村、弘前地域の3つの地域が認定されている。製造業、農林水産加工業、物流関連などがある。

問 おいらせ町は八戸圏域内になると思うが、町内に認定を受けている企業はあるか。

(平野敏彦 議員)

答 現在、町内にはない。

6月 定例会



議事進行する松林議長

令和5年第2回定例会は、6月5日から9日までの5日間の会期で開かれました。町監査委員の選任のほか条例改正、令和5年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算を審議しました。報告2件、議案7件が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。

区分	議案番号	▼議案審議一覧 6月5日(月)から9日(金)まで 全案可決	議決結果
報告	2	令和4年度おいらせ町一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告
報告	3	令和4年度おいらせ町農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告
人事	30	おいらせ町監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
条例	31	おいらせ町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	32	おいらせ町立児童館条例の一部を改正する条例について	可決
補正予算案	33	令和5年度一般会計補正予算(第1号)について	可決
	34	令和5年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可決
	35	令和5年度介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可決
	36	令和5年度病院事業会計補正予算(第1号)について	可決

人事案件

議案第30号で、町から提出された人事案について、全会一致で「同意」しました。

議会選出監査委員

木村 忠一
きむら ちゅういち

任期:令和5年6月9日から令和9年4月30日

令和5年度

6月の主な一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算額に2億2,537万円を増額し、予算の総額を107億2,237万円としました。

低所得の子育て世帯生活支援特別給付金	住民税非課税世帯等臨時特別給付金	学校給食運営費	ワクチン接種関連委託料
低所得者の子育て世帯に対して児童一人あたり5万円給付 新設補正額 1,550万円 	【コロナ対応事業】物価高騰により影響を受けている低所得者世帯に対して1世帯あたり3万円給付 新設補正額 7,200万円 	【コロナ対応事業】学校給食材料費高騰による食材費への補助 補正額 1,001万円 補正後 1億3,556万円 	【コロナ対応事業】ワクチン接種期間延長にかかる主な委託料 補正額 4,324万円 補正後 5,701万円 
社会福祉施設等物価高騰対策支援金	町内認定こども園物価高騰対策支援金	北公民館外構測量設計業務委託料	中央公民館暖房設備更新工事費
【コロナ対応事業】物価高騰により施設運営に影響を受けている社会福祉施設等への支援金 新設補正額 2,486万円 	【コロナ対応事業】物価高騰により施設運営に影響を受けている認定こども園への支援金 新設補正額 781万円 	郵便局新築に伴う北公民館の外構整備に係る測量設計業務委託費 新設補正額 618万円 	故障した暖房設備の更新工事費 新設補正額 268万円 

主 な 質 疑



【報告第2号】

令和4年度一般会計繰越明許費繰越計算書

問 除雪車両の納入時期は10月と聞いているが、間違いないか。また、納期まで時間がある。いろいろな材料費等が高騰しているが、金額は変わらないのか。

(梶山忠 議員)

答 10月末納期で変更ない。契約金額にも変更はないので繰越予算額で可能。



問 町民プールに券売機を設置することによって収支はどうなるのか。利用者が増え、収入が増える見込みはあるのか。

(平野敏彦 議員)

答 試算したところ、4年から5年で採算がとれると見込んでいる。利用者についても、コロナ禍以前のベースに戻ると考えている。人を配置するよりも券売機で対応したほうが効率的と考え設置する。



【議案第30号】

監査委員の選任につき同意を求める

問 監査委員は他の行政委員と異なり合議制ではなく独任制である。代表監査委員がいるものの、1名欠員の状態が1か月以上あったことは相応しくないと思うが。

(西館芳信 議員)

答 地方自治法上、監査委員の任期の規定で、後任者が選任されるまでの間は、必要な場合は引き続き職務を行うことができると解釈している。全ての行政委員会において任期満了前に人選できれば望ましいが、特に今回の議員選出の監査委員は議員改選時期ということもあり、難しい面がある。

【議案第31号】

特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

問 現在、町の特殊勤務手当はいくつあるのか。

(平野敏彦 議員)

答 条例の中に6つある。今回はコロナが5類になったことに伴い防疫等作業手当に係る特例措置が廃止される。

【議案第33号】

一般会計補正予算(第1号)

問 支援の対象となる社会福祉施設数、認定こども園数、それぞれ1施設に対する支援金額は。また、低所得世帯は何世帯あるのか。

(澤上訓 議員)

答 社会福祉施設は67施設を予定、支援金額は1施設あたり約35万円。認定こども園は13施設、支援金額は基本額20万円の他に、園児数やバスの有無、事業所によって異なるが平均は50万円程度になる。低所得の子育て世帯は、確定している242世帯の他に、今年度の非課税世帯を追加予定。



問 原油価格高騰により農林漁業者も大変な思いをしている。農林漁業者は対象にならないのか。補助金の根拠は。

(平野敏彦 議員)

答 今回の予算には計上していないが、現在、担当課でどのような支援が必要か確認している。漁業者については今年度も燃油の支援を検討しており、農業・畜産業者には昨年の実績を精査し支援内容を見直している。



問 移住・定住プロモーション業務委託の内容は。

(梶山忠 議員)

答 高校生、大学生など「若者」の視点でフィールドワークやワークショップ等を行い、町の魅力を発見してもらう。それをSNSで発信や、町のPR動画を作成しYouTube等で配信するなどの町のプロモーションを計画している。



【議案第36号】

病院事業会計 補正予算(第1号)

問 公共事業でインセンティブが発生する契約は記憶にないが、どの事業に成果指標を設定し、どこを成功としてコンサルティング手数料を支払うのか。

(西館芳信 議員)

答 病院の経営基盤を安定させるために地域包括ケア病床を25床から39床に増床した。それにはベッドコントロールが重要で、病院職員が熟知できるように業者と締結して取り組んでおり、その収益の一部を成功報酬として支払っている。

障がい者施策について問う

おおうら ようこ
大浦 陽子 議員



第2期障がい者基本計画（見直し）策定について問う

問 当計画を策定するにあたり、どのような方で議論協議がされたのか。また委員は何人で構成され、委員の中に障がい児、障がい者に係る現状を把握している委員は何人いるのか。

答 町障がい者自立支援協議会において内容を協議している。協議会は9名で構成され障害者施設の代表の方、町身体障害者福祉会の代表や障がいのある方の家族会の代表等で構成されている。障がい者・障がい児の現状を把握している委員は、障害者施設から派遣の4名が委員となっている。

問 令和3年度に策定された第6期障がい福祉、第2期障がい児童福祉計画も同じ策定の仕方か。

答 第6期障がい福祉計画も第2期障がい児福祉計画も、障がい者基本計画見直しと同様の手順で作成している。

問 事業所が増えていると説明があったが、行政の施策または事業所の自発的な設立によるものなのか。

答 当町の障がいに係る事業所は、民間の事業所が自発的に設立している。

問 就労継続支援施設に就労できない方がいる。その理由として医療的ケアを必要とし、事業所に看護師が配置されていないからと考える。就労を支援するため、町で看護師や保健師を必要とする事業所へ巡回し健康観察を行えないか。またできない場合、その理由は。

答 現在、医療的ケアを必要とする方は、就労継続支援施設において看護師が配置されていないため受入れが困難である。町で施設を巡回する看護師、保健師は配置していない。

巡回を実施できない理由は、医療的ケアを必要とする方は緊急時の対応に備え看護師が常駐するか、それに近い対応が必要となり、医療的ケアに精通した看護師の配置や主治医との連携等が課題となる。



障がい者の生活・活動支援について問う

問 障がい児や障がい者がいる多くの家庭では、何かしらの悩みを抱えていると感じる。計画の中に、「地域社会を支える保健、福祉、医療の充実と目標が示され、悩みや要望、提案を聞き、ニーズを的確に把握しながらサービスを確保し、質の向上を図る」とあるが、家庭で解決できない課題を行政は今後どのような支援や方向で解決することを考えているのか。

答 相談体制の強化が一番と考える。町の相談体制強化に加え、民間の相談支援事業所が増加し、専門知識を持った相談員が本人や家族の意向をくみ取り必要な支援をコーディネートすることで、きめ細かい支援ができ、不安や悩みの軽減につながると考えている。

問 居住地域での登校や町外の事業所施設利用者の支援として、移送や送迎の支援をできないものか。

答 現行のサービスでは規定に制限がある。通学等で利用できる例外として、支援している家族が病気等で入院するケースでは対象となるが、移送サービスを委託できる事業所は町内に1か所しかなく様々なニーズに対応できる状況ではない。登校等が困難な方の送迎サービスについて必要に応じて検討していく。

障がい者の投票について問う

問 障がいがあっても投票所に行かずに投票ができる「郵便等による不在者投票における代理記載制度」があると聞いた。現在、この制度を利用している人数は。また、町として投票率を上げるため、今後の課題と若い世代が投票に行きたくなる、町独自の考えはあるのか。

答 現在、制度を申請して交付を受けている方は4名。様々な取り組みをしているが、年々投票率は低迷している。投票環境向上よりも有権者が政治に関心を持ち、政治や投票を身近に感じるような意識の醸成が必要であると考え。若い世代へは、18歳到達により新たに有権者になった方々に、個別に選挙啓発のハガキを郵送しているほか、大型商業施設に期日前投票所を設けるなどしている。



ひらの としひこ
平野 敏彦 議員

甲洋・下田小学校区の 移住支援の継続を

まち・ひと・しごと 創生総合戦略評価は

問 総合戦略の4年度の検証事業は、町移住者採用企業支援補助金事業と、甲洋・下田小学校区子育て世代定住助成金事業の2件。事業の取り組みの効果は。

答 移住者採用企業支援補助金事業では、本事業を活用して就職支援サイトへ情報を掲載した企業は2社。補助金額は60万円。

子育て世代定住助成金については、令和3年度と4年度の2か年で21件、2,250万円の助成実績がある。内訳は甲洋小学校区が9件で900万円。下田小学校区が12件で1,350万円。



◀下田小学校周辺

問 2件の評価・検証結果が5点満点のうち2点だった。評価の低い要因は。

答 移住者採用企業支援補助金事業については、補助件数や就職実績が目標を下回ったという現状が、委員の評価が低かった要因と考える。

また、甲洋・下田小学校区子育て世代定住助成金事業については、人口減少地区に重点的にテコ入れをする意図がある政策だが、委員には非効率的、非経済的に映ったと思われる。事業のあり方について検討していく。



問 甲洋・下田小学校区子育て世代定住助成金事業については、2か年で21件の事業効果がある。継続すべきと考えるが、町の認識は。

答 それぞれの地区で実績があることから、事業の継続は大事だと考える。

町内会の活動について伺う

問 町内会の数と組織の実態について。

答 令和5年3月末で56の町内会があり、住民基本台帳上の世帯数は10,791世帯、町内会への加入世帯数は7,093世帯で加入率は65.7%となっている。

問 加入率が下がり、役員のなり手がない等の町内会が多くあると聞く。どのように把握しているか。また対策について。

答 令和4年度の連合町内会の情報交換会では「役員の高齢化、若手のなり手不足」が共通の議題となったと聞いている。その対策として、町内会加入促進事業を実施する町内会に助成を行っている。

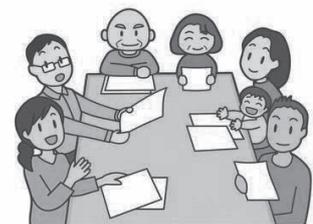
なり手不足については、その地域や地区にあった取り組みにより、担い手づくりや次世代の育成をしていくことが必要と考える。

問 町から町内会への依頼と、町関係機関からの依頼の実態について

答 町や関係団体からの依頼は、各種広報紙の配布、全町一斉清掃、敬老会の開催、民生委員・児童委員の推薦、保健協力員の推薦、定住助成金受給者の町内会加入証明書及び状況調査、赤十字活動資金募集、緑の募金活動、社会福祉協議会会費の納入、赤い羽根共同募金などがある。

問 町内会は、住民をつなぎ地域を支える役割を担ってきた。町及び関係機関からの町内会への依頼を、整理・統合、簡素化できないか。

答 調査の上、整理・統合、簡素化できるものがあれば進めていく。



町道、通学路の安全対策は



ならやま ただし
榎山 忠 議員

ふるさと 縄文の森イベントホールと 間木堤駐車場の一体化について問う

問 5月4日、5日に開催された「おいらせグリーン」と町との関係は。

答 有志の方々が組織して開催されたイベントで、必要な物品の貸し出し等、後援をしている。

問 集客は2日間で7~8千人くらいで久々の賑わいだったが、町はどのように把握しているのか。

答 町の賑わい創出や町民に元気を与えるような、面白い話題を提供してくれたと思う。

問 定期開催を要望する考えはないか。

答 町としては活動の継続を願いつつも、団体の自主性や民間活力を尊重し、求めに応じて可能な支援をしていきたい。

問 間木堤の駐車場は満車状態で、イベントホールと駐車場間を移動するお客様で町道の通行車両に支障がでていたが、これを緩和するためにイベントホールと駐車場間の町道を拡幅して歩行者の利便性を図る考えは。

答 通常時は道路管理上の支障がないので、道路拡幅の予定はないが、今後の道路改良を行う際に蓋つき側溝や路肩舗装を検討する。



▲間木堤駐車場から イベントホールへ向かう町道

問 駐車場は緊急用ヘリコプターの離着地となっているが、代替え地の準備は。

答 近隣ではサーモンパーク、町営霊園の駐車場が代替え場所になる。

災害対策について問う

問 三田地区住民の避難ルート、木内々小学校の通学路である間木地区の老人福祉センター東側の町道は常習的な冠水道である。町民の安全・安心を守るためにポンプ場を整備し冠水被害を防止する考えは。

答 冠水対策として、令和6年度に流末の整備済調整池にポンプを設置することにし、昨年度の実施計画に計上した。今後、対策工事の検討を行う。

問 町に防災危機管理専門職員が不在であるが、配置する考えは。

答 東日本大震災の復興事業も一区切りが付き、令和4年4月からは正職員の配置で防災・減災対策ができると思われ、専門員の配置は今のところは考えていない。

空き家対策は

問 町内の3年間の空き家の推移は。また、過去に対策として企業(不動産業)と連携して活用を図ることだったが、その後の成果は。

答 町内の空き家は、平成27年度に403戸確認。今年度の後半以降に実態把握をする予定。空き家バンク登録状況は合計10件、そのうち活用状況は7件。コロナの影響等もあり不動産業との連携はできなかったが、今後検討したい。

問 芦野団地の今後の空き家対策は。

答 平成26年度から入居募集は行っておらず、入居者がなくなった段階で解体を考えている。解体するまでは職員が巡回管理をする。

新庁舎建設及び病院の移転用地について

問 用地選定について議員一同の総意として意見書を提出したが、その活用は。

答 4月24日付で議員改選前の町議会副議長より意見書を受け取った。町で選定したイオンモール周辺エリアとは異なる新たな候補地を掲示しており、議員一同の総意というよりは議員個々の意見として受け止めている。

2つの候補地とも、これまで町が検討調整してきた候補地と異なる場所であり、土地の諸条件、状況等の調査を詳しく行っていないため、情報収集、状況等を把握、整理して6月中旬以降に、この重要な事業の経過等を再度説明して意見交換する機会を設けたい。



▲昭和50年に建設された分庁舎



にしだて よしのぶ
西館 芳信 議員

GIGAスクール構想下の町の教育現場の現状は

子どもたちのランドセルは軽くなったか

問 テキスト、その他連絡物のペーパーレス化が進み、児童生徒のランドセル、カバンの中身は軽量化されたか。それともIT端末等の持ち帰りで逆に重量化したのか。この構想推進の象徴的現象として捉えたい。

答 ペーパーレス化を進めているわけではないので、軽量化されていない。

問 子どもとIT端末の触れ合いについて、単に携帯電話の話だが小中学校での所持はどのような条件、制限下で許容され、所持率はどの程度か。

答 保護者の責任のもとで購入所持と考えている。所持率は令和4年度で小学6年生38.3%、中学3年生71.7%となっている。



問 一人1台の端末所持、高速ネットワークの環境はいつ達成されたのか。まだであれば、現況と課題は。

答 タブレット端末は令和3年3月に2,200台購入した。ネットワーク環境については、平成28年度に校内LANを整備した。

問 本構想に対する、子どもたちや先生方の当初反応、受容度は。また、教育現場に厳然と課された本命題に対する子どもたちと先生方の反応、そして対処姿勢は。

答 個人差はあるが、学習の場でも積極的に使いこなしているし、教員も積極的に取り入れようとしている。

問 ICT支援員の確保状況、教員個々のICTリテラシー向上の努力実態、授業実践の現状と効果は。

答 ICT支援員は会計年度任用職員として1名採用している。教員は校内外の研修等に参加し、リテラシー向上を図っている。

子どもたちに対しては、学習支援ソフトの活用、インターネットを活用した「調べ授業」を行い、授業の中で、わかる授業や魅力ある授業の実現に役立っている。

問 本方策と協議推進すべき課題の実施について、国は本構想実現のためには子どもたちに対する語学教育の効果的実施とグローバル視点の育成、指導者養成は欠かせないとしているが、当町の現場担当者はどう対処していくのか。

答 学校でのタブレット端末活用により主体的、対話的で学びの深い視点から授業の改善を目指し、また教員の資質向上等のためICT研修、ICT支援員の活用など、学校間の格差が生じないための施策を進めていく。

令和3年9月以降の土地利用計画見直しの現状について問う

問 市街化調整区域の消滅について、町民の要望、行政担当者の英断により調整区域をなくしたが、その良否等、1年半後の担当者の思いは。

答 都市計画は20年後、30年後という長期間において成果が現れると考えている。
今回の見直しは、今後の土地利用制度は町が主体的に決定できるようになったところに意義があり、責任の重さを感じている。

問 新たに設定された産業誘導地域、住宅誘導地域、田園環境居住地域は当初の目論見通りの進展があるのか。甲洋、下田小地区での変化はどうか。

答 産業誘導地域に変更した箇所は店舗開発の動きがみられ、住宅誘導地域は宅地分譲の開発が停滞することなく、より開発が進行している。田園環境居住地域は、指定後は従前市街化調整区域では認められなかった宅地分譲、店舗開発の動きがみられ、当初の目的どおりに進展していると考えられる。



行政サービス向上のために マイナンバーカードの普及を



さわ お ひろゆき
沢尾 宏之 議員

「5月臨時会 議会組織」

「5月臨時会 議案審議」

「6月定例会

議案審議及び補正予算」

「一般質問(7名)」

「二部事務組合議会議員報告」

マイナンバーカードの普及について伺う

問 社会保障、税金、災害対策の分野で住民と行政双方の手続きを軽減する役割もある当制度であるが、昨年5月の取得率は37.1%であった。現在の状況はどうか。

答 直近で公表されている令和5年4月末時点でマイナンバーカードの取得率・交付率については、当町では69%、青森県で69.3%、全国で69.8%となっている。なお、5月末時点での当町の交付率として、町民課で把握しているところでは73.1%となっている。

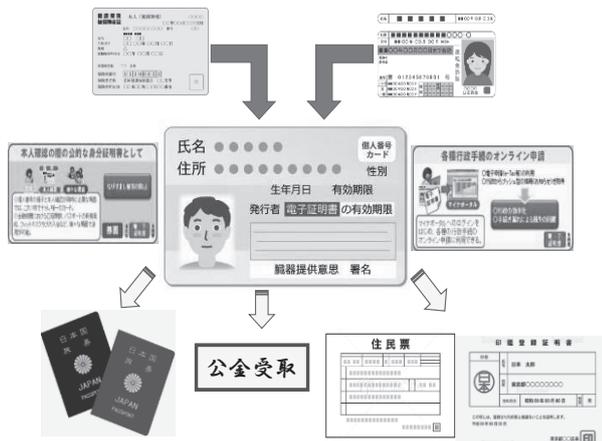
問 マイナンバーカードを持つことで、オンライン上で様々な行政サービスが受けられる。一例として、

- ・免許証やパスポートがなくても顔写真付きの身分証として活用できる。
- ・健康保険証と一体化され、医療に関する情報もいつでも閲覧できたり医療費控除を簡単に申請できる。
- ・全国旅行支援などの各種補助金などを受け取ることができる。などがある。

一方で、セキュリティや個人情報の利用など漠然とした不安を感じている方も多いとの指摘もある。町民にとって大きなメリットがあるマイナンバーカードをより普及させるためには、カードを持つメリットや漠然とした不安を取り除くための取り組みが必要だと思いが、これまでどのような取り組みをしてきたか。

答 町広報紙及びホームページへの記事の掲載。チラシの配布等を行い、制度の周知に努めてきた。

また、不安等をお持ちの方には窓口手続きの際に、丁寧に説明するようにしている。



問 マイナンバーカード普及率を加速するための取り組みは、どのようなことを計画しているのか。

答 当町の申請率は8割を超えており、9月までは交付事務と国で実施中のマイナポイントキャンペーンのサポートを集中的に実施したいと考えている。
その後は交通弱者等、様々な事情によりカード申請が困難な町民への対応として、簡単に申請ができるように近くの公共施設等に出向いてカード申請を支援する出張申請を実施していきたい。

木ノ下中学校の体育館（講堂） 新築について伺う

問 木ノ下中学校の現存する体育館は、狭小感があり老朽化も懸念され、教育活動においても冬季及び悪天候時に様々な活動に影響があるため、早期に新築着工が必要と考えるが、どのように推進していくのか。

答 木ノ下中学校講堂改築事業については、今年度から工事に着手することとしている。今年度は造成工事、令和6年度、7年度の2か年で本體工事を行い、令和8年度、9年度の2か年で旧講堂の解体工事、外構工事を行う計画としている。



▲老朽化が懸念される講堂



▲旧式のトイレ



おがさわら しんや
小笠原 伸也 議員

ふるさと納税に対する取り組みは

ふるさと納税研修会後の変化は

問 町内事業者向けに商品のPRと販路拡大に向けて2月22日に実施した研修会は新聞にも報道された。そこで、その研修会の参加事業者数と具体的な研修内容、その後どうなったのか。また、ふるさと納税に参加する事業者の数や取り扱う返礼品等に変化はあったか。

答 27の事業所、団体から32名が参加。ふるさと納税制度概要や総務省が示す基準と、現在の町の取り組み状況について研修した。研修会参加後には、新たな返礼品の登録に向けて準備・調整をしている。

問 令和3年度のふるさと納税件数と金額はどれほどか。また、おいらせ町は青森県内40市町村のうち順位はどうか。順位の変動はあるのか。

答 ふるさと納税件数は1,681件で金額は2,270万6千円。県内順位は29位となっていて、前年度より順位を3つ下げている。

ふるさと納税の主な寄付金の活用は

問 人気の返礼品とはどのような品があるのか。また、上位3つとその件数、金額はどれほどか。

答 当町の実績では、1位は生ハムセットで寄付件数は367件、寄付金額440万4千円。2位はホッキ貝で361件、361万円。3位は、はちみつセットで290件、348万円となっている。



▲返礼品1位の生ハムセットと2位のホッキ貝

問 寄付金の使い道に指定が無い場合、その活用状況はどうか。また、おいらせ町の予算に充当した事業の内容と金額は。

答 町内の学校や団体等に貸し出しているバスの借上料559万7千円。町内会運営交付金450万円。百石高校の支援事業に50万円。

問 寄付金は収入とし、当町の税金が他自治体へ流れた金額を支出とすると、令和3年度の収支状況はどうか。

答 収入2,270万6千円。支出1,926万635円。差し引きすると344万5,365円。さらに国からの支援を加算すると令和3年度の収入金額は1,789万841円となっている。

現在、商工観光課が担当している「ふるさと納税」について伺う

問 今後のふるさと納税の目標順位と目標金額はどれほどか。

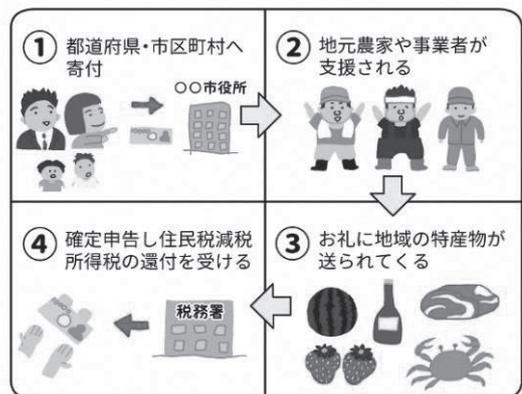
答 明確には掲げていないが、1つの目安として今年度予算の寄付収入を2,400万円計上している。

問 今後おいらせ町も納税額が増えた場合、どのように対応するのか。県外では「ふるさと納税推進室」が設置されている自治体もある。対応する部署を新設する考えはないか。

答 現在の状況では、今の業務体制が基本。専門の課内室設置も考えていない。

問 企業版ふるさと納税制度(人材派遣型)の活用を考えているか。

答 企業版ふるさと納税は、町が寄付金活用事業を企画・立案し、企業へPRや趣旨説明などの働きかけを行ったうえで、町と企業の思いがマッチした際に成立するものだが、現在はノウハウや人的資源が不足しており活用できていない。



通学路の交通安全対策を



かわぐち ひろし
川口 弘治 議員

「5月臨時会 議会組織」 「5月臨時会 議案審議」 「6月定例会 議案審議及び補正予算」 「一般質問(7名)」 「二部事務組合議会議員報告」

交通安全対策について問う

問 横断歩道等の白線未整備状況は。

答 横断歩道については県公安委員会が管理しており、町内に国道・県道・町道合わせて198本設置されている。白線が薄くなっている箇所は順次整備すると伺っている。また町道のセンターラインや外側線は概ね5年に1回程度、順次整備している。

問 道路の見通しが悪く危険であると指摘要望があると思うが、どのように対処しているか。

答 交差点やカーブなど見通しが悪い箇所は、カーブミラーを設置するなど順次対応している。草が生い茂って見通しが悪い箇所は、必要に応じて草刈りを行っている。

問 町道の草刈りは年に何回行っているか。

答 令和4年度の草刈り実績を年換算すると、3回程度。

問 運転免許証を返納した高齢者に対して救済をする考えは。

答 運転免許証を返納した高齢者に対しての救済については、役場内の関係課で協議した経緯がある。おいらせバスの運行状況や利用状況などを検証し、検討することとしている。

事務事業評価について問う

問 おいらせ百石、下田まつりは何年に始まり何年間行われてきたか。

答 百石まつりの起源は、明治13年(西暦1880年)で、今年で143年、下田まつりは昭和27年(西暦1952年)から始まり今年で71年。



◀コロナ禍前の
豪華絢爛な山車運行

問 両まつりの事務評価結果はB判定。評価の根拠は。

答 両まつりは観光物産協会主催の事業でありながら、ほぼ役場職員がスタッフとして運営している実態である。おいらせ町誕生以来、統合を検討していくべきではとの意見があるものの、なかなか進展がなく、これらを見直していくべきとのことからB評価となった。

問 両まつりは伝統と脈々と続いてきた町民の楽しみと
思いがある。この思いは評価されなかったのか。

答 両まつりは、長年の伝統の重みや町民が交流する貴重な機会であり、観光振興や経済活性化に資するものである。しかし、新型コロナウイルス感染症により両まつりが3年間途切れたことや、少子化の進行によりまつりの継承が危ぶまれている状況にあると思っている。現状のままではいずれ先細りになるのではないかと危機感を持っている。

公園整備について

問 いちよう公園はどのような経緯でできたのか。

答 当時の百石町は八戸市のベットタウンとして宅地化が予想される中で、都市公園は児童公園1か所のみだった。町民から公園整備要望が強くなり、昭和47年に整備が決定した。

問 多くの町民の手によってできた公園としての掲示板の設置をする考えはないか。

答 各種団体や多くの町民の手によって植栽などの整備が行われ、町民に親しまれる魅力ある公園となっている。こうした活動で整備されたことを掲示板として設置することは、今後、関係者と相談していく。

問 毎年、春に実施していた公園の清掃活動がなくなった理由は。

答 町観光物産協会が実施している事業。今年度、協会では7月に下田公園で新たなイベントを開催する予定であり、イベント実施後に清掃活動を行う予定。

小中学校について問う

問 現在、不登校の児童生徒は何人か。

答 令和4年度の不登校児童生徒数は、小学校18人、中学校44人、計62人。

問 コロナ禍以前より不登校児童生徒は増えているか。

答 令和元年度より増加している。

問 コロナ禍での学校行事の制限等による児童生徒のストレスにどのような対策を講じてきたか。

答 学校行事の制限等により精神的なストレスを抱える児童生徒には、教育相談員、スクールカウンセラー等と連携し、個別に対応している。

議会選出一部事務組合議会議員による派遣報告

市町村がそれぞれの行政区域を越えて共同で事務事業を行うことで、サービスを効率的・効果的に行う目的で設置された各広域事務組合です。私たちの生活に関りがある各広域事務組合に派遣されていた2名の議員からの事業報告概要をお知らせします。



【十和田地域広域事務組合】

「ごみ」、「火葬」、「し尿」に関する業務を行っている、一部事務組合

○構成市町村○
十和田市、六戸町、五戸町、新郷村、おいらせ町



派遣議員

さ さ き ま さ る
佐々木 勝

会計報告

令和5年度当初予算

会計	総予算額	当町負担額	当町負担金 前年度比
一般	7,626万円	720万円	65万円
清掃	12億6,022万円	2億4,437万円	4,795万円
火葬	5,956万円	1,079万円	116万円
衛生	9,724万円	1,900万円	820万円

業務報告

令和5年度新規事業

- 廃棄物処理、リサイクルシステム等の施設整備計画
- ごみ焼却施設の屋根、外壁等の状況調査
- 施設整備方法の調査業務委託

【上北地方教育・福祉事務組合】

知的障がい者施設等の管理及び運営に関する業務を行っている、一部事務組合

○構成市町村○
十和田市、三沢市、七戸町、東北町、野辺地町、横浜町、六ヶ所村、六戸町、おいらせ町



派遣議員

よ し む ら と し び み
吉村 敏文

会計報告

令和5年度一般会計当初予算

歳入歳出 6億8,101万円
(前年度比△3,782万円)

そのうち、町分担金3,014万円
(前年度比 170万円)

業務報告

○コロナウイルス感染症対策

- ・ぎんなん寮、もみのき学園の入所利用者に陽性者が発生した場合の居室の区分け
- ・もみのき学園短期入所事業及び日中一時支援事業停止

○青年の家

- ・改修工事に関する補助金の説明をうけ、コストの調査積算から、今後、構成市町村と協議する

第3回定例会のお知らせ

令和5年8月31日(木)午前10時から
おいらせ町議会では、
みなさんの傍聴をお待ちしています。

- 問い合わせ 議会事務局(本庁舎3階)
- 電話 0178(56)2112

「ぎかいだより懸橋」に

表紙写真をお寄せください

町の魅力あふれる写真をお待ちしています。

送付先	おいらせ町議会事務局 議会広報係
電話	0178-56-2111(代表)
メール	gikai@town.oirase.aomori.jp



編集後記

新型コロナウイルスも一段落といったところでしょうか。が、まだまだ油断はできず、注意怠ることなきよう町民の皆様と共に日々健やかなれと祈る思いであります。

さて、この度、新たに新人議員が5名となり議会も活気づいており喜ばしく身の引き締まる思いです。何より町民に寄り添った一般質問に積極的で頭が下がります。

町や公の行事が4年ぶりに開催され「ちむどんどん」しています。私たち町民の頼りは役場職員の方です。

飛びたちてゆきそうな
心鎮めつつ
青天の光に折鶴翔ばす



広報委員長 ひのぐち かずこ
白野口 和子